



ほっ  
と  
県議会

県民と議会を結ぶ

かがわ



みんなの声を  
まっちょる犬

Vol.84

ほっと県議会議かがわ  
令和元年11月25日発行



Let's make KAGAWA

## 9月定例県議会

### 代表質問

《自民党県政会：高城議員、リベラル香川：三野議員、自民党議員会：辻村議員》

一般質問《5会派、12名の議員が登壇》

議員提出議案等《決議1件、意見書3件を可決》

常任委員会だより・閉会中の委員会活動《7～9月中》

高校生フォトコンテスト議長賞作品

「威厳」

撮影者：坂出高校

藤原 愛梨さん

## 可決・同意された知事提出議案

### 主な議案

#### ○令和元年度一般会計補正予算

経済活動を支える重要な生活基盤である道路の整備や河川改修、農業用排水施設、治山ダムの整備などの事業費の増額や幼児教育・保育の無償化に係る補助対象経費の拡充など総額62億8,100万円余の補正予算。

#### その他25議案

うどん県  それだけじゃない  
香川県 

# 9月定例会

9月18日から10月10日

# 代表質問

9月20日



高城 宗幸 議員  
自民党県議会

**問** 人口減少対策と次期「かがわ創生総合戦略」の策定は。

**答** 浜田知事県外進学者の多くが、県内では希望する企業や仕事に就くことが難しいと感じているため、若者の大都市圏への流出に歯止めをかけ、県内定着を図るには、情報通信関連産業などの若者が魅力を感じる働く場の創出が不可欠である。

東京圏・大阪圏への転出者には情報通信業の就業者も多いことなどから、今後、情報通信業及びその関連産業の育成・誘致に積極的に取り組むたい。新たな施策として、県内企業のAIやIoT等活用支援、外国人労働者の円滑な受入支援や多文化共生社会づくりに取り組みほか、働き方改革の推進や地域課題の解決に向けた関係人口の創出・拡大に努めたい。

**問** 保育士の人材確保及び保育の質の確保・向上は。

**答** 10月1日時点の認可保育施設への入所申込児童数は前年同期より増加する見込みで10月から実施される幼児教育・保育の無償化も影響していると考えている。

保育士人材の確保は今年度から民間の保育施設で代替職員を必要とする場合に代替保育士を派遣する事業を開始し、既に4施設に派遣しており、10月以降の派遣を希望する15施設について調整している。

保育の質の確保・向上は今年度から教育委員会と連携して豊富な知識や経験を有する幼児教育スーパーバイザーを派遣し、8月末までに19施設で園の運営や園内研修の方法などの助言を行った。

**問** 県立高校の在り方を示す次期計画の検討状況は。

**答** 工代教育長全国からの生徒募集は、多様な価値観の共有などの教育効果が見込まれるため、令和3年度の入学者選抜からの実施に向け準備したい。

高校の再編整備は、東かがわ・さぬき地域の4校の小規模化が避けられず、これまでの教

育活動が困難と予想されるため2校への再編整備が適当と考えられる。石田、志度、津田高校の3校は、さらに発展させるため統合し新たな高校を設置したい。

中高一貫校である高松北中学校・高校の大学進学実績や、県外の私立中高一貫校等へ毎年一定数の生徒が進学していること等を踏まえ、中讃地域に新たな中高一貫校を設置することに向け準備を進めたい。

**問** ドクターヘリ導入の検討は。

**答** 知事7月に開催した第1回検討委員会では、本県の救急医療の現状や全国の配備状況などを説明した。経費負担のうち、初期導入費用の大半を占めるインフラ整備は国の補助制度があるほか、ランニングコストも、国の補助や特別交付税措置の対象となること、医師や看護師の確保についての四国他県の事例を説明し、意見を聞いた。

10月に開催予定の第2回検討委員会では、導入効果や費用に関する試算を検討し、第3回検討委員会では、経費の縮減や運航体制の確保など、詳細な検討を行い、報告書をまとめる。

県議会での議論や検討委員会

からの報告書を踏まえ、関係団体等の意見も聞きながら、今年度内を目途に結論を得たい。

**問** 犯罪被害者等を支援する条例の制定は。

**答** 知事「香川県犯罪のない安全で安心なまちづくり推進条例」第13条で、犯罪被害者等の平穏な生活を確保するため必要な支援を行うと定めており、県警察や「かがわ被害者支援センター」と連携して犯罪被害者等からの相談に応じるほか、市町職員への研修会の開催などにより情報共有に努めている。

近年、他の都道府県では、相談及び情報の提供を主としたものや経済的支援を行うものなど、地域の実情によって様々な犯罪被害者等を支援する条例が制定されており、本県においては、これまでの取り組みや他県の状況を踏まえ、県議会の意見も聞きながら、様々な観点から検討したい。

**問** テロ未然防止による県民の安全・安心確保の取組みは。

**答** 岡部警察本部長テロリスト等の潜入を防止するため、出入国在留管理庁等の関係機関

**問** 地方一般財源総額の充実と持続可能な財源確保は。

高くなる見込である。令和2年産の需要に応じた安定生産のため、作付面積の拡大に応じた助成や生産拡大に必要な機械の導入支援に加え、技術指導に努め、生産振興の強化に取り組む。

ブランド化については、「さぬきの夢」応援店の拡大に努めることともにSNSを活用した情報発信、高松駅等でのチラシ配布などにより広くPRするほか、製粉会社と連携した講習会や県内小学生を対象としたうどん教室の開催等により、認知度向上や消費拡大にも努める。

毎年度行っている財政運営指針の見直しで、指針の対象期間に加え、今後5年間の収支見通しを示し、その中で見込まれる財源不足額をどのように解消できるか、施策の有効性の観点等からの全庁的な事務事業の見直しやスクラップ・アンド・ビルド、経費節減の徹底、事業の平準化等を懸命に検討している。

と連携した水際対策の強力な推進や、宿泊施設等の事業者に対する本人確認の徹底を働きかけるなどの対策を行っているほか、大規模集客施設等の施設管理者に自主警備の強化を働きかけ、制服警察官やパトカーによる警戒活動を強化している。

サイバー攻撃に関しては、重要インフラ事業者と連携し、被害の発生防止に努めている。

テロ対策は、関係機関、民間事業者等と協力して取り組む必要があるため、昨年10月に「テロ対策パートナーシップ」がわを発足させ、更なる連携の強化を図っている。

**問** 県内企業の海外展開への支援は。

**答** 知事ジェトロ香川内に設置した「香川県海外ビジネス展開促進センター」において、企業の課題解決に向けた、きめ細かな支援を行っている。

高松空港直行便就航地域でのビジネス展開を支援するため、上海市にビジネスサポーターを配置するほか、来年1月に台湾で現地企業との商談会を開催する。タイやインドネシアで開催される国際展示会へ

**問** 瀬戸大橋の利用促進とその活用は。

**答** 知事瀬戸大橋のライトアップは、環境や景観、社会経済の有識者らで構成する委員会の検討を踏まえ、点灯の日数や時間の拡大に関係機関と連携して取り組む。

スカイツアーは、開催日数の拡大を本四高速会社に働きかけた結果、瀬戸内国際芸術祭の秋会期にあわせて拡大して開催されることから、県としても積極的に協力し、一層の利用促進につなげたい。

情報発信や各種プロモーション活動に取り組むとともに、瀬戸大橋が既に新幹線規格で建設されていることから、四国の新幹線の実現に向けて積極的に取り組む。交流人口の拡大による地域の活性化につなげていく。

**問** 「さぬきの夢2006」の生産振興とブランド化の推進は。

**答** 知事令和元年産は、天候に恵まれたこともあり、作付面積1940ヘクタール、収穫量8700トンと、いずれも過去最



さぬきの夢応援店チラシ



三野 康祐 議員  
リベラル香川

**問** 市町の森林環境譲与税の活用見込みと県の取組みは。

**答** 知事今年度、市町は森林経営管理法に基づく森林所有者への意向調査、間伐等の森林

整備、木材の利用促進などに森林環境譲与税を充てるほか、基金への積立てを予定している市町も多い。

県では、各市町の森林行政への技術的な支援に加え、今年度から県や森林組合のOB、森林ボランティア等を対象に研修を行い、市町のサポートを行う「かがわ森林アドバイザー」の育成に努めている。

### 問 国民健康保険の県の財政運営による変化と運営姿勢は。

【答】知事都道府県単位化に伴い毎年約3400億円の財政支援が行われ、昨年度の実績で県平均の1人当たり保険料調定額は平成29年度より945円減少し効果があつたと考える。

各市町の1人当たり医療費で最大1.34倍、収納率で最大8ポイントの差があり、市の

### 問 消防団の充実強化の取組みは。

【答】知事消防団の活性化を図るため、消防操法大会や消防団員に対する研修会などを実施するとともに、各種資機材等の整備を補助対象としているほか、国庫補助の積極的な活用を促すなどにより消防団の装備等の充実強化に取り組んでいる。

女性消防団員の活躍の促進は、新たな取組みとして、消防団関係者が集まる会で女性消防団員の活動を発表する場を設け、活動の場が広がるよう支援する。

免許制度の改正では、消防団員が新たに準中型自動車の運転が可能免許を取得する場合に、市町が行う支援に対して補助を行う。

### 問 国民健康保険の保険料水準の統一化に向けた検討は。

【答】知事本県の現状は、各市町の1人当たり医療費で最大1.34倍、収納率で最大8ポイントの差があるほか、保健事業など

町が実施する保健事業等も差があるため、医療費水準等の市町間格差が縮小した時点で保険料水準の統一を検討したい。

市町の一般会計からの決算補てん等を目的とする繰入れは解消又は削減すべき対象と認識しており、該当する市町で解消に向けて計画が作成され、取組みが進められている。各市町と幅広く意見交換を行い、安定的な財政運営や効果的な事業運営に努める。

### 問 県立病院の新たな負担と経営上の対応や支援は。

【答】知事医師・看護師の育成・確保は、医師育成キャリア支援プログラムの運営による若手医師の県内定着、医学生や看護学生への修学資金の貸付けなどを通じ支援してきた。

一般会計からの繰出しは、病院経営上の収益を充てることで困難なものなどに国の繰出基準等に照らし県立病院としての役割が果たせるよう対応してきた。

【太田病院事業管理者消費税率10%に引上げ後の影響額は約2億円、会計年度任用職員制度導入の影響額は約2億6

千万円と試算している。7月に、国等に対し制度的・財政的支援等の要望を行い、全国的な共同購入組織への参加や後発医薬品への切替え、診療報酬上の施設基準の取得に取り組んできた。

### 問 バス運転手の不足の現状認識と確保対策は。

【答】知事人口減少、高齢化による担い手不足、近年の外国人観光客の増加によるバス需要の拡大等により、バス運転手の確保が困難になっているものと認識している。

県では、四国各県や関係団体等と連携してバス運転手への就職を促すためのパンフレットを配布するなど職業選択にバスを運転手を含めてもらえるよう努めてきた。今後、バス運転手の確保に向け、他県の取組事例も参考に、県バス協会等とも意見交換を行い、県の就職支援サイト「jobナビかがわ」への登録の呼びかけや、バス運転手の労働環境の改善に向けた働きかけ、若者層や女性をターゲットとした一層のPRなど、県としての具体的な取組みを検討する。



外国人観光客への災害時対応マニュアル

にも差があることから、医療費水準等の市町間格差が縮小した時点で統一について検討したい。

県多言語コールセンター」を運営し、利便性向上に努める。自然災害発生時の対応は、防災マニュアル等を新たに作成し、観光案内所や宿泊施設などで配布・活用しており、今後は、観光施設等と連絡調整会議を設け、外国人観光客へのスムーズな情報提供のための連絡体制構築に取り組む。

### 問 外国人観光客誘客の取組みは。

【答】知事外国人観光客の誘客は、東アジアに加え、欧米豪からの誘客を推進することが重要で、SNS等を活用した情報発信や新規旅行商品に本県の観光資源等が組み込まれるための商品造成支援に努める。

受入環境整備は、多言語対応の充実・強化のため、「香川

### 問 通学路等の点検結果を踏まえた対応や交通安全施策の総合調整機能の確立は。

【答】知事大津市での事故を踏まえ、県管理道路の主要な交差点約800か所で緊急点検を実施した。今後は、点検結果を踏まえ、交差点改良等、効果的な交通安全対策を検討する。

香川県交通安全県民会議において、くらし安全安心課が事務局となり、県警察や教育委員会、庁内の関係部局のほか、関係団体等と調整を行い、対策の重点推進事項の決定や交通安全運動、交通死亡事故多発時における緊急対策を行うなど、総合的な施策を推進している。



通学路等の緊急点検

野菜では、ハウスの自力施工の技術研修会を開催し、初期投資の軽減にも取り組む。

【答】教育長香川型指導体制は、学習の理解度に応じた指導により成果を上げてきたが、時代の変化に伴い学校が直面する諸課題が複雑化・多様化するなか、英語教育やプログラミング教育などにも対応する必要があるため、教職員の働き方改革の視点も踏まえ、指導体制の再構築が大きな課題である。

### 問 小中学校の指導体制の見直しと充実は。

【答】知事秋冬野菜は、排水対策に努めるほか、栽培様式を統一し、ほ場の準備作業を短期間で行える生産技術の確立に取り組む。今年度から、市場に正確な出荷時期等の情報を提供して有利販売につなげるため、ブロッコリーでは、AIを活用した出荷予測情報システムの開発に取り組むほか、施設

交通安全施設の設置は、関係者が多岐にわたるため、くらし安全安心課が窓口になり総合的な調整を行っているが、より地域の実情に応じた対応が可能となるよう努める。



辻村修 議員  
自由民主党議員会

### 問 県庁舎東館耐震改修工事の進捗状況と県民への周知は。

【答】知事平成29年8月から工事に着手し、現在、地下部分の上部構造を支える免震装置の取付けや地上部分の高層棟塔屋部の耐震補強を施工している。

今後は、低層棟ピロティの天井や床の仕上げ、南庭や低層棟東側歩道復旧等の工事を実施し、当初の予定どおり、12月の竣工を見込んでいます。県広報誌10月号に、工事の現況を掲載し、広く県民へ周知する。12月に竣工し、東館1階の県庁舎建築ギャラリーを再開するほか、来年1月下旬には、今回の工事内容や地下

### 議員提出議案

●決議  
新県立体育館の整備等に関わる決議案(可決)

●意見書  
1 新たな過疎対策法の制定に関する意見書案(可決)

2 私学助成制度の堅持及び充実、強化を求める意見書案(可決)

3 高齢運転者の交通事故防止対策の推進を求める意見書案(可決)

●審査件数  
○採択 3件

○不採択 2件

・私学助成の充実について

・私学助成制度を拡充し、学費の公私間格差を是正することを求める意見書の提出について

●不採択 1件

・県の厳しい財政下、議員海外視察の抜本的な見直しを求めることについて

●任命・選任同意の人事案件

◆香川県教育委員会委員  
小坂真智子(同意) 平野美紀(同意)

◆香川県公安委員会委員  
泉 雅文(同意)

◆香川県人事委員会委員  
関谷利裕(同意)

◆香川県収用委員会予備委員  
池田幸代(同意)

◆香川県土地利用審査会委員  
合田彰朝(同意)

◆香川県土地活用審査会委員  
多羽本伊知郎(同意) 岩井競平(同意)

◆野々村敦子(同意) 杉本三枝(同意)

◆土手美恵(同意) 近藤 弥(同意)

◆道久 工(同意)

### 議会各会派

令和元年10月10日現在

◆自由民主党香川県議会 20人

◆リベラル香川 9人

◆香川県議会自由民主党議員会 8人

◆香川県議会公明党議員会 2人

◆日本共産党香川県議会議員団 2人



高木 英一 議員  
自民党県政会

**問 太陽光発電2040年問題への施策は。**  
**答** 国に対し「太陽光パネル等の発電設備について管理及び撤去・処分が確実に進む仕組み」の構築を要望し、廃棄費用の積立金額水準の提示等が必要と申し上げた。事業者に対し、県や国のガイドラインに基づき、設備の有害物質使用情報の入手や、廃止届の提出時のマニフェスト添付を義務づけ、リサイクル等の技術的情報を提供、推奨している。

**問 里海の再生と活性化のためのフルボ酸鉄シリカの海岸への設置は。**  
**答** 平成28年度から、香川大学と共同でアサリ資源回復に向けた取組みに関する研究を進めている。フルボ酸鉄シリカの海岸への設置は、有明海で干潟に堆積したヘドロを分解する底質浄化手法の1つで、引き続き詳細な情報収集や香川大学との共同研究を進める。

**問 県立学校でのミスト噴霧と窓の複層ガラス化の取組みは。**  
**答** 学校内の井戸水を利用してミストを噴霧する取組みは、児童生徒がその場で直接効果を体感でき、環境教育の観点からも有用な取組みであると考え。校舎等の複層ガラス化は、施設全体の断熱対策等を総合的に検討する必要があり、費用面も含めて研究する。

**問 県立高校への地方創生に繋がる学科の新設と人材の育成・確保は。**  
**答** 高松工芸高校による香川漆器の魅力発信等、SBP(※4.8ページ 右欄外参照)と同様の取組みを数多く行っている。新しい学科やコース等の設置は、地方創生に繋がる学びの観点も含めた検討を行う。人材については、研修等により教員の資質向上を図るほか、高校の多様な教育活動に各分野の専門家が参加できる体制を整える。



広瀬 良隆 議員  
公明党議員会

**問 県内中小企業のSDGs経営の推進は。**  
**答** 国の「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」や「四国SDGs研究会」に参画し、他の自治体等の取組みの情報収集や支援のあり方の情報共有を図る。高松青年会議所が初めて開催する「かがわSDGsアワード」に後援と知事賞交付を行うほか、かがわ産業支援財団やジェトロ香川と連携し講演会やセミナーを行う。

**問 環境保全に資する地域づくりを推進する取組みは。**  
**答** 住宅用太陽光発電設備等の設置補助を通じエネルギーの地産地消に寄与するとともに、里山整備で発生した広葉樹材を薪等の木質バイオマスとして活用し、地域の所得向上や雇用創出を促すほか、山・川・里・海をつなげて支える「里海づくり」に取り組む。地域循環共生圏の形成は、先行事例等の情報収集に努める。

**問 発達障害児の療育体制の充実は。**  
**答** かがわ総合リハビリテーションセンターに設置した施設において、作業療法士や言語聴覚士などによる療育を行うほか、市町等に対する相談・助言や研修、困難事例への支援を行っている。県内の作業療法士養成機関との連携を密にし、必要な人材の養成確保に努める。

**問 歩行者優先の交通社会の構築は。**  
**答** ボランティア等と一体となった広報活動や、運転免許更新時の指導、高齢者への横断歩道利用呼び掛け、横断歩行者等妨害の違反取締の強化を行っているほか、歩行者を押ボタン式信号に誘導する道路標示を試験整備し効果を検証中である。横断歩道等の道路標示は、緊急性の高いものから更新するなど適正な維持管理に努める。



岡野 朱里子 議員  
自民党県政会

**問 児童虐待防止対策等は。**  
**答** 西部子ども相談センターの女性相談員の配置は効果的なあり方を研究する。施設入所が適当と思われるケースの保護者の費用負担は、丁寧な説明を行い理解を得るよう努めており、国の基準と異なる取扱いは慎重に検討する必要がある。一時保護所の支援の質の向上に関する第三者評価の実施は他県の実施状況等を踏まえ検討したい。

**問 障害者の在宅就労支援は。**  
**答** かがわ総合リハビリテーションセンターで在宅ワーカー育成事業により在宅就労を支援する取組みを進めている。就労支援に関する制度は、先進事例なども含め情報提供を徹底し、在宅就労が進むよう努める。ICTを活用したモデル事業の実施は、他県の状況などを調査したい。

**問 米国製造メーカーの人工乳房の自主回収問題に係る対応は。**  
**答** 県内の実態は、認定施設の医療機関から9月末で再建手術を受けた方が89名、待機中の方が11名との回答があった。10月1日に対象機関に適切な相談対応を依頼し、県民にホームページなどで情報提供を行った。治療費や損害賠償等の負担は、現時点で政府が特別な対応を行う考えはないと伺っている。

**問 不登校対策は。**  
**答** 文部科学省は、不登校児童生徒の支援体制を整備するために、不登校児童生徒支援協議会等の設置や、コーディネーター等の配置の例を挙げて令和2年度の概算要求をしている。不登校支援に係る関係機関の連携の窓口の設置やコーディネーターの配置は有効であると考えており、幅広く研究を進めたい。



松本 公継 議員  
自民党議員会

**問 関係人口の創出・拡大の取組みは。**  
**答** 瀬戸内国際芸術祭が契機となり、島と継続的に関わる関係人口が増え、元気を取り戻していると感じられる地域も出てきているほか、他県では外部の人材が地域等に関わり、新しい視点やアイデアにより、地域の活性化につなげた事例もある。次期かがわ創生総合戦略の骨子案に、地域課題の解決に向けた関係人口の創出・拡大を盛り込んだ。

**問 災害時の防災情報の収集と伝達は。**  
**答** 発災時に県から被災市町等へ災害時連絡員を速やかに派遣し、警察、消防、自衛隊などのほか、電力会社等のライフライン事業者とも相互に連携して正確な情報の迅速な入手に努める。新たに防災アプリを導入し、適切な避難行動を支援する情報や避難所情報などを提供できるシステムを構築している。

**問 県道太田上町志度線バイパスなどの道路整備は。**  
**答** 国道193号から国道32号までの約1.4キロメートル区間は、県道太田上町志度線バイパスと接続し、高松市中部地域の東西アクセスを向上させ、並走する現道や県道三木国分寺線の交通の円滑化にも資する道路であり、六条工区の事業の進捗等を見ながら、財政事情を踏まえ、事業化の時期について検討する。

**問 不登校傾向の子どもに対する支援は。**  
**答** 小学校入学前に「子育てハンドブック」、中学校入学前に「さぬきの子育て思春期サポートブック」を配布するほか、親子のコミュニケーション等を保護者同士で話し合う「家庭教育推進専門員によるワークショップ」を実施するなど、家庭教育の大切さや子どもへの関わり方について学習する機会を提供する。



松岡 里佳 議員  
リベラル香川

**問 ひきこもりへの対策や支援は。**  
**答** 本県のひきこもりの実態調査によると、726人がひきこもりの状態にあり、その37.6パーセントが支援を受けていない状況にある。今後、ひきこもりサポーターを活用して個別支援の充実などの支援環境を整備したり、「ひきこもり対策連絡協議会」などを通じ、早期発見や適切な支援のための連携強化を図っていく。

**問 備蓄倉庫の安全性や備蓄の状況は。**  
**答** 生島町の備蓄倉庫の敷地及び前面道路は、県の地震・津波被害想定では津波浸水想定区域に該当せず、安全性は確保されている。備蓄物資は県内72か所の県有及び市町有施設に分散備蓄され、主食全体の約86パーセントが生島町以外の施設に備蓄されている。

**問 ハザードマップの周知と活用は。**  
**答** 県のホームページでハザードマップを確認できる「かがわ防災GIS」を積極的に紹介している。地区防災計画の策定などの地域での防災活動の取組みで、ハザードマップの活用が一層促進されるよう努めるほか、先進的な取組みも、各市町と情報共有を図る。防災重点ため池の名称と所在地を被害軽減につながる情報として、できるだけ早く県のホームページに掲載したい。

**問 病院の再編・統合等への取組みは。**  
**答** 本県では4つの医療機関が再検証の対象とされたが、高松医療センターは難病や結核医療の中核的な医療機関であり、他の医療機関も地域医療を支える重要な役割を担っている。今後、「地域医療構想調整会議」で、これらの医療機関がそれぞれの地域で担っている役割等を、丁寧に聴取し協議したうえで、その検証内容を国に報告することになる。



新田 耕造 議員  
自民党県政会

**問 循環器医療とリハビリテーションの状況及び今後の展望、県立病院の循環器医療体制は。**  
**答** 知事循環器医療の状況は、カテーテルアブレーション治療(※2.6ページ 右欄外参照)が県立2病院を含む5医療機関で実施されるほか、「地域連携クリティカルパス(※3.7ページ 左欄外参照)」の活用を促進するなど、急性期から在宅療養に至るまでの関係機関の連携協力体制を整備してきた。リハビリテーションの状況は、実施する医療機関が年々増加傾向にあり、9月1日現在で19施設あるなど、体制の充実が図られている。昨年12月に成立した「循環器病対策基本法」は、国等の責務を明らかにし、循環器病対策を総合的かつ計画的に推進するものであり、患者に対する良質かつ適切なリハビリテーションを含む医療の迅速な提供等が加速されると考える。

**問 病院事業管理者中央病院では、カテーテルアブレーション治療に積極的に取り組む、平成29年度の実績は394件と四国で1位であり、年々増加している。患者数の増加に対応するため、医師の育成にも取り組んでいる。リハビリの実患者数も増加傾向にあるため、4月から理学療法士を1名増員し、心臓リハビリテーションの充実にも取り組んでいる。白鳥病院でも循環器系の先進的治療や心臓リハビリテーションも実施し、地域の医療ニーズに対応している。**

**問 歴史教育の取組みは。**  
**答** 令和4年度から実施される高校の新しい学習指導要領では、新設の「歴史総合」が必修科目となり、すべての生徒が世界と日本の近現代史をしっかりと学習する。義務教育段階では、小学校から中学校への学習内容の系統的な接続・発展を重視するほか、中学校では、より幅広い観点から歴史の学習を行う。



氏家 孝志  
議員  
自民党県政会

**問 災害発生時の停電対策と無電柱化の推進は。**

**答** 被災市町や四国電力等に速やかに災害時連絡員を派遣する体制を整備し、防災拠点施設等への電力の優先供給等が適切に行われるよう、ライフライン事業者や防災関係機関と連携した訓練を実施する。香川県無電柱化推進計画を本年3月に策定し、今年度は県道高松善通寺線や県道琴平停車場琴平公園線などで事業を実施している。

**問 高松空港の整備状況と今後の展望は。**

**答** 高松空港株式会社国内・国際線の搭乗待合室や免税店舗の拡張を進め、国際線手荷物受取場の処理能力拡大などのハード面の機能を強化する方針である。便益向上策や費用削減策を具体的に整理するなど、カテゴリⅢの計器着陸装置の整備が図られるよう粘り強く、国に働きかける。

**問 国際交流の推進は。**

**答** 広い視野や国際感覚を持った若者が育つよう、青少年の海外交流に取組み、新しい世代における県と南米県人会との交流の架け橋となる人材を育成し、交流が持続し、発展するよう努める。交流先の要望も踏まえ、独立行政法人国際協力機構(JICA)の協力のもと、専門家派遣や技術研修員の受入れといった国際協力の取組みを実施する。

**問 地域高規格道路・高松環状道路の整備は。**

**答** 高松環状道路の国道11号からサンポート高松付近までの区間は、国においてルート等の調査が行われており、現時点では計画段階評価を実施する状況ではない。国と連携を図りながら、引き続き整備方針について検討する。



秋山 時貞  
議員  
日本共産党議員団

**問 給付型奨学金制度の考えは。**

**答** 国の高等教育の無償化や給付型奨学金の拡充を受けた県の対応は、来年度に向けて検討している。奨学金等の教育資金の充実、将来の香川県を背負って立つ人材を育成することにつながるが、将来にわたって持続可能な制度とすること、税負担も含めて全体として公平感のあるものとするのが重要と考えている。

**問 性的少数者に関する取組みは。**

**答** 知事県民の理解と認識を深めるため、様々な機会を捉えて周知啓発に努めるとともに、他県の事例や当事者団体の要望を踏まえ、電話相談窓口を昨年8月に開設したところである。平成28年度から県職員向けの研修会を毎年開催しており、他県での職員向けのハンドブック作成の取組みも参考にして職員の理解を深める。

**教育長** 性同一性障害の正しい理解を図るリーフレットを県内の全教職員に配布し研修を実施している。文部科学省の通知も全学校に周知し、共通理解が図られるよう指導したほか、教職員がチームで関わるようリーダー養成に取り組んでいる。学校から相談が寄せられた場合は、児童生徒の心情に十分配慮した対応に努めるよう指導している。

**問 ひとり親支援のあり方は。**

**答** ひとり親家庭は、子どもの養育、収入、仕事等の面で多くの困難に直面し心身ともに負担が大きい状況があり、関係機関と連携を図りながら的確に支援を進めることが行政の役割であり、責任である。県は市町への経済的支援をはじめ、子どもの学習支援、母子・父子自立支援員等による相談・情報提供、就業支援などの各種施策に取り組んでいる。



山本 悟史  
議員  
リベラル香川

**問 県立高等技術学校の今後のあり方は。**

**答** 国や民間教育訓練機関との役割分担を図りつつ訓練内容の充実を図るとともに、オープンキャンパスの実施など効果的な訓練生の募集に努めるほか、専門性を有する指導員の計画的な確保と育成に努める。施設の修繕やニーズの高い機器の整備を計画的に行い、訓練環境の確保、充実を図る。

**問 持続可能な公共交通ネットワークの構築への取組みは。**

**答** 地元市町とも連携し、ことでの新駅や駅前広場の整備、線路の複線化、ICカードの拡大などに取組むほか、鉄道と路線バス等の公共交通機関相互の乗り継ぎ機能を高める。鉄道ネットワークの維持には四国の新幹線の早期実現が不可欠であり、引き続き整備計画への格上げに向け積極的に取り組む。

**問 夜型観光の推進の取組みは。**

**答** 本年は新たに県庁21階のプロジェクトマップを実施している。今年度新たに創設した「ナイトコンテンツ造成支援事業」を活用し、父母ヶ浜でのビーチライブなどの民間事業者等が主体となった新たなイベントも県内各地で開催されており、多くの来場者から高い評価を得ている。

**問 県立高校の生徒の受入れについての考えは。**

**答** 全国からの生徒募集は多様な価値観の共有を図り多くの刺激を受けるなどの教育効果が見込まれる。学区の弾力的な運用は進路選択の幅を広げ多様な学びのニーズに応えることができる。全国からの生徒募集は令和3年度の入試に向け、また学区の弾力的運用についても早期実現に向け準備を進める。



香川 芳文  
議員  
自民党議員会

**問 東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿と学校教育への取組みは。**

**答** 知事昨年3月に「東京2020オリンピック香川合宿実行委員会」を立ち上げるなど事前合宿の誘致やホストタウン登録市町との連携に積極的に取り組んでおり、地域との交流は、今後、交流事業等の内容を相手国・地域の意向も聞き、検討する。

**教育長** 昨年度から、小・中・高校及び特別支援学校のうちから「オリンピック・パラリンピック教育推進校」を指定し、今年度は昨年度の10校から34校に拡大している。推進校の取組みを他の学校に広げるため、今年2月には教育フォーラムを開催し、推進校の事例発表や取組みを紹介したリーフレットを作成・配付するなど情報発信を行っている。

**問 農業の後継者育成と集落営農の推進は。**

**答** 農業大学校で、農業未経験の定年退職者等を対象とした「就農準備研修」と「就農実践研修」を設け、この2コースを受講した56人のうち29人が就農した。集落営農組織間や近隣の認定農業者などとの連携を促し、人材不足の解消等を図るための支援制度を創設した。

**問 集中豪雨などによる水害対策等は。**

**答** ハード対策では河川及び砂防施設の整備、ソフト対策では春日川等12河川で洪水浸水想定区域図の作成等を進める。要配慮者利用施設における避難確保計画の昨年度末の作成状況は、浸水想定区域内の施設では約47パーセント、土砂災害警戒区域内の施設では約37パーセントである。昨年度の避難訓練の実施状況は、それぞれで約18パーセント及び約21パーセントとなっている。



鏡原 慎一郎  
議員  
リベラル香川

**問 ジビエの利活用の取組みは。**

**答** 狩猟者を対象とした解体技術講習会の開催等に取り組むほか、県産ジビエの普及・消費拡大のため、レシピ集の作成、調理講習会の開催、県内でジビエを取扱う農村レストランの県ホームページでの紹介を行っている。ジビエの処理加工施設の整備等は、国の交付金を活用でき、国も支援の拡充を検討している。

**問 中学校の部活動指導員の配置への支援と生徒の引率への対応は。**

**答** 市町の部活動指導員の任用に、国と合わせて経費の3分の2を補助し、国へ補助事業の継続と拡充を要望している。適切な指導者確保のため、運動部活動における指導者データベースを作成し、合計196名の指導者情報を市町に提供している。生徒の引率は、生徒や保護者のニーズを踏まえ、教員の負担軽減の観点で、県中学校体育連盟と協議する。

**問 緊急通報や現場での多言語対応は。**

**答** 外国人からの緊急通報に、多言語のコールセンター活用を検討している。交番等では、通訳ハンドブック等を活用するほか、一部の交番でタブレット型翻訳機も導入している。県警察は全体で17言語の通訳要請に対応しており、翻訳タブレットや翻訳アプリの導入は、情報セキュリティ面等を配慮し検討している。

**問 がん患者へのウイッグ購入助成等は。**

**答** 病院等に美容師等を派遣する事業で、昨年度計7回派遣した。研修を受けた美容師にがん患者をサポートする旨を表示したステッカーを配布し、200以上の店舗で相談等の協力を得た。今年度はニーズ調査を実施し、療養生活を送るうえでの負担や悩み等を把握するほか、これまでの取組みも検証したい。



白川 和幸  
議員  
自民党県政会

**問 農業生産者の収益性向上の推進は。**

**答** 市場ニーズに対応し、出荷前の予冷処理の徹底など他産地との差別化を図る。安全・安心な農産物の安定的な供給に向け、GAP認証の取得を推進し、耕畜連携による資源循環型農業の取組みを積極的に支援する。健康志向の高まりに対応するため、キウイフルーツなど県産農産物の機能性成分を調査し、訴求力の高い売れる農産物づくりを進める。

**問 県内事業者の働き方改革への支援は。**

**答** 中小企業等経営者から「どう取り組んだらよいか分からない」「経費負担が大きい」などの声があるため、経費の一部を助成したり、社会保険労務士などの専門家が中小企業等の個別サポートを行うほか、生産性向上のための国の助成制度の周知等にも努めている。

**問 民法改正に伴う若年者への消費者教育の推進は。**

**答** 高校や短大、大学などで「若者向け消費生活講座」を実施するなど、悪質商法やSNS、インターネットを使った消費者問題の啓発や情報提供を行ってきたが、昨年度からは、県内の高等学校や特別支援学校で、国が作成した教材を活用した授業を実施し、高校生の消費生活に関する知識や意識の向上に向けた取組みを行っている。

**問 英語教育の充実への取組みは。**

**答** 高等学校では、小・中学校の英語教育を踏まえ、実際のコミュニケーションの機会や、海外語学研修など異なる文化を背景とする人たちと関わる機会を増やしている。国際バカロレア教育では、学校やコースの設置について、高度な資質を持つ教員の確保等の課題も考慮しながら検討したい。

総務委員会

障害者の雇用

問 取組み状況は。

答 身体、知的及び精神障害者を対象とした非常勤職員採用試験を実施した結果、今年4月1日から新たに非常勤職員として12名、また、正規職員として2名を採用した。非常勤職員の業務内容は、採用試験時に希望した所属での受付業務やパソコン入力などであり、人事・行革課では2名の支援員の支援を受けながら作業を行っている。

法改正に伴う対応としては、障害者雇用推進者として

総務部長を選任したほか、事業主として定める障害者活躍推進計画については、国から作成指針が示され次第、速やかに進めていきたい。また、障害者の職場定着に向けては、職場環境の整備が重要であることから、視覚障害者に対して、拡大読書器等を購入したほか、相談窓口の設置や職員啓発用の冊子を作成したところであり、今後も引き続き、障害者雇用に積極的に取り組む。

南海トラフ地震臨時情報

問 発表された場合の対応は。

答 南海トラフの震源域において、「半割れ」、「一部割れ」、「ゆっくりすべり」の事象が観測された場合、国が、これを臨時情報として発表する。

県の対応は、地震発生による堤防の崩壊等によって30センチ以上の浸水が地震発生から30分以内に生じる地域において、速やかに避難することが困難な高齢者や障害者などは1週間の事前避難の対応を取る。一人一人がより安全な行動を



総合防災訓練

選択し、自らの身は自らで守る自助を基本に地震への備えを強めてほしい。

そのほか、大学等との連携、財政運営、地域おこし協力隊、RPA等の技術の活用、瀬戸内国際芸術祭2019、新県立体育館の整備、旧三豊工業高校跡地の利活用、会計年度任用職員制度、多文化共生の社会づくり、中国・陝西省との交流、県の災害対応、消費者教育の推進、安心・安全の確保、あおり運転対策などについていただきました。

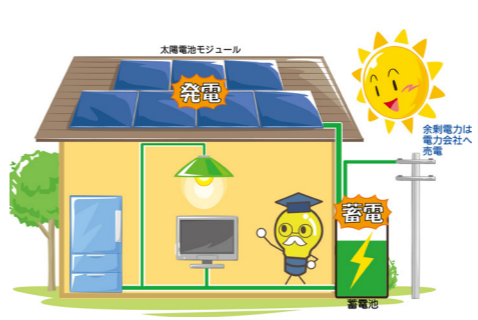
環境建設委員会

住宅用太陽光発電設備の普及促進

問 補助事業の実施状況と太陽光発電設備の導入効果は。

答 補助金の申請状況は、8月末時点で、太陽光発電が783件、金額で6090万4千円、蓄電池が451件、4240万8千円で、予算額に達する見通しの10月末で申請受付を終了したい。

補助制度で、住宅用太陽光発電設備の設置件数は、昨年度末で2万5025件、年間



住宅における太陽光発電と蓄電池のイメージ

のCO2排出削減量は約7万2千トンとなり、地球温暖化の抑制に貢献している。

サイクリングルートの整備

問 サイクリング環境の整備に向けた取組みは。

答 平成29年度に設定した小豆島を一周する約82キロメートルのモデルルートは、交差点やルートの分岐点等で路面標示や看板の設置などのハード整備が完了している。

県内の海岸沿いの約125キロメートルの基幹ルートと、これを起終点として、東讃・高松・中讃・西讃の4つのエリアごとに設定した一周80キロメートルから88キ

ロメートルの地域ルートは、5月に策定した整備計画に基づき国や市町と連携しながら整備を進めている。基幹ルートは、国道部分は3月までに整備が完了し、県管理道路部分は、今年度中に整備が完了する見込みで、地域ルートも、整備計画に基づき順次、整備に努めていきたい。

そのほか、瀬戸内海のごみ対策、特定外来生物対策、災害廃棄物の処理、豊島廃棄物等処理施設撤去等事業、一般廃棄物減量化、竹林対策、家電製品のリサイクル、緑のカイテンの普及促進、橋梁等の老朽化対策、民間危険ブロック塀等撤去支援事業、空き家への対応、洪水浸水想定区域図の作成状況、工事請負契約の手續き、民間住宅耐震対策支援事業、道路陥没防止対策などについていただきました。

文教厚生委員会

公立病院等の統合

問 県のこれまでの取組みと今後の対応は。

答 先般、国から、全国の公立、公的病院で再編・統合の議論が必要と判断される対象医療機関が公表された。

県ではこれまで救急医療や小児医療などの公立、公的病院として果たすべき役割を担うことを目的とした統合や、医療機能の充実を目的に新病院整備にあわせた病床の削減を行っている、医療を効果的

に提供する体制の確保に向けて

今回、再検証が必要とされた対象病院について、高松医療センターは、結核、難病に特化した中核病院であり、その他の診療実績が少ないのは当然であること、その他の三病院も、二次救急医療機関やへき地医療拠点病院として地域医療の中心的な役割を担っていることなどを踏まえ、地域医療構想調整会議で各病院からその病院の役割を具体的に聞きながら協議を進めたい。

県立高校の在り方を示す

次期計画

問 東讃地域の再編整備の考え方と中讃地域の中高一貫教育校の検討は。

答 三本松高校は多様な学びを保障し就職を志望する生徒も受け入れられるようにしたい。石田、志度及び津田高校は統合して新たな高校を設置し、各校の伝統を生かしこれからの社会で必要な力を育成できるようにしたい。高瀬のぞみが丘中学校の閉校は、ゆとり教育の支持が得られなかったと総



文教厚生委員会の審査の様

このほか、第三次県立病院中期実施計画の達成状況、外国人介護留学生等の受け入れに係る支援、医師確保対策、動物愛護問題、幼児教育の無償化、小・中学校の施設やICT機器に関する市町への補助、不登校児童生徒の状況、中学校における部活動指導員、非認知スキル向上事業、新県立体育館の整備などについていただきました。

経済委員会

夜型観光の推進

問 県庁展望室でのプロジェクト展示マップ来場者数及び商店街と連携した取組みは。

答 イベント開始から11日で4077人の来場者があった。内訳は、県内が全体の80.8パーセント、県外が14.3パーセント、海外が約5パーセントで幅広く来場している。

商店街と連携した取組としては、香川大学の学生が企画する県庁から商店街までのまちあるきツアーや、空き店舗



県庁プロジェクトマップ

を活用したラウンジの整備、飲食・宿泊施設への多言語翻訳機の設置を行っている。

GAPの推進

問 認証取得状況と取得推進に向けた県の支援は。

答 認証の取得状況は、本年度新たに5経営体が取得しており、今年度末には合計11経営体となる見込みである。取得した経営体の多くは露地野菜栽培に取り組み生産法人で、レタス、青ネギ、オリーブなど12品目で認証が取得されている。

取得に向けた支援については、指導体制を強化するため、農業改良普及センターに

においてGAP指導員の資格取得を進め、農業者への普及啓発や助言、認証取得の働きかけを行っている。また、認証取得を希望する農業者に対して個別指導を行うとともに、専門のコンサルタントの派遣や認証審査にかかる費用の助成を行っている。

さらに、農業高校等でのGAP教育や消費者へのPR活動を併せており、今後ともGAP認証の取得を目指す経営体や産地に対して、積極的な指導・支援に取り組んでいく。

そのほか、希少糖プロジェクトの推進、発酵食品産業の振興、働く女性の活躍推進、自然災害等発生時における外国人観光客への情報提供、観光客の動向、女性・高齢者等就職支援事業、農業分野での女性活躍、花き振興、家畜伝染病の防疫対応、「おいでまい」のブランド化、漁業就業者の減少対策、ため池の水質浄化対策などについていただきました。

## 決算行政評価特別委員会を設置(14名)

<b>委員長</b> 三野 康祐	<b>副委員長</b> 高木 英一			
<b>委員</b> 木村 篤史	山本 悟史	谷久 浩一	有福 哲二	
都築 信行	斉藤 勝範	花崎 光弘	樫 昭二	
香川 芳文	山本 直樹	宮本 欣貞	平木 享	

## 第11回 高校生フォトコンテスト実施!!

高校生フォトコンテストを次のとおり実施します。

**テーマ** 私だけの香川 私の見つけた香川 元気になる香川

**募集期間** 令和元年12月1日(日)～令和2年1月31日(金)

詳しくは、県議会のホームページをご覧ください。  
[ホームページアドレス]

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/gikai/>



## 多言語対応電子書籍で配信中!

県内外の在住外国人や高齢者、視覚障害者など、紙面による広報誌が読みにくい方々に幅広く議会情報を提供するため、多言語に対応し、音声読み上げ機能を備えた電子書籍版広報誌を配信しています。  
【閲覧方法】スマートフォン・タブレット端末用アプリ「カタログポケット」(無料)をインストールしてご覧ください。また、パソコンのブラウザでも閲覧可能です(ブラウザによっては音声読み上げの機能が非対応)。

アプリダウンロード  
QRコード



ブラウザ版URL

<https://www.catapoke.com/>

## 議会インターネット中継実施中!!



香川県議会ホームページで公開されている本会議や委員会の生中継や録画配信が、スマートフォンやタブレットでも視聴できます。



香川県議会インターネット中継アドレス

[https://smart.discussvision.net/smart/tenant/pref\\_kagawa/WebView/rd/council.html](https://smart.discussvision.net/smart/tenant/pref_kagawa/WebView/rd/council.html)

香川県議会ホームページからもリンクしています▶▶

## 閉会中の委員会活動(7~9月中)

### ◆総務委員会(8月26日~28日・県外視察)

大泉町役場(群馬県)、利根導水総合事業所秋ヶ瀬管理所、埼玉県議会、ラウンドアバウト(埼玉県)、千葉県議会(千葉県)

### ◆環境建設委員会(8月5日~7日・県外視察)

道央自動車道輪厚PA(上り)、輪厚スマートIC、(株)マテック石狩支店、定山溪拡幅道路拡幅・電線共同溝事業、札幌創世1.1.1区、札幌市リサイクル団地・中沼資源選別センター(北海道)

### (9月17日・現地視察)

県道門座香南線(香南工区)(高松市)、株式会社富士クリーン(綾川町)、(株)森づくり(さぬき市)、県道太田上町志度線(六条工区)(高松市)

### ◆文教厚生委員会(8月26日~28日・県外視察)

群馬県立心臓血管センター、保渡田古墳群、富岡製糸場、高山社跡、群馬大学重粒子線医学センター(群馬県)

### (8月29日・現地視察)

史跡丸城跡(丸亀市)、ライオンケミカル(株)オレオケミカル事業所(坂出市)

### ◆経済委員会(7月29日~31日・県外視察)

(株)岩城、(株)秋田ニューバイオファーム(秋田県)、農業水利施設保全合理化事業(広野地区)、つるおか食市場、つけもの処 本長、ヤマガタデザイン(株)、鶴岡市立加茂水族館(山形県)

### (9月9日・現地視察)

大西食品(株)(丸亀市)、父母が浜(三豊市)、農地耕作条件改善事業「油井北側地区」(観音寺市)

### ◆総合防災対策特別委員会(7月23日・現地視察)

南川自主防災会、花の山池、鴨部川(鴨庄地区)(さぬき市)、太田地区自主防災組織連絡会(高松市)

### (8月19日~21日・県外視察)

熊本県庁(熊本県議会)、熊本城、大切畑ダム、東海大学 阿蘇キャンパス、阿蘇大橋地区(砂防・道路)、熊本港(熊本県)

### ◆少子化対策特別委員会(7月19日・現地視察)

土庄町立土庄こども園、土庄町立土庄小学校(土庄町)、小豆島国際ホテル、せいけんじこども園、小豆島町立苗羽小学校(小豆島町)

### (8月21日~23日・県外視察)

金沢市児童相談所(こども総合相談センター)、白山市立松任幼稚園(石川県)、安達建設株式会社、特定非営利活動法人しおんの家(富山県)

### ◆県立体育館整備等に関わる特別委員会(8月19日~21日・県外視察)

鶴岡市文化会館(山形県)、愛知県体育館(愛知県)、滋賀県立近代美術館(滋賀県)

### ◆地域活力向上対策特別委員会(7月26日・現地視察)

(有)広野牧場、多田孝夫氏(米栽培増進定農業者)(三木町)、香川県クルマエビ等大規模中間育成施設(さぬき市)

### (8月21日~23日・県外視察)

(株)宗谷岬牧場、ウニ種苗生産センター、神居海岸パーク、北海道庁(北海道)



### 高校生フォトコンテスト広報委員長賞

「出陣」 撮影者:丸亀高校2年 川崎 朱理さん



### 高校生フォトコンテスト 佳作

「僕の初恋」 撮影者:観音寺第一高校3年 臼杵 真菜さん



今月の表紙

「高校生フォトコンテスト」の入賞作品のうち、県議会議長賞を各号の表紙としてお届けし、広報委員長賞及び佳作を誌面でご紹介します。

入賞者の言葉とともに高校生の視点で捉えた「香川」のあれこれをお楽しみください。

## 「威厳」 坂出高校3年 藤原 愛梨さん

この写真は「神野神社」で行われたお祭りの様子を撮影したものです。私の住む地区の獅子は体が布ではなく、黒い毛で覆われています。舞うたびに毛が大きく揺れ、とても力強く感じられます。そんな獅子がこっちを向いて華麗に舞う姿に圧倒されて思わずシャッターを切りました。写真は一瞬一瞬を大切にすることでその気持ちを忘れずにこれからも見た人の心に届くような写真を撮っていきたくと思います。ありがとうございました。



ホームページのURL <https://www.pref.kagawa.lg.jp/gikai/>



この広報誌は、古紙配合率70%再生紙、また、環境にやさしい植物油インクを使用しています。